

## 第3回名立区地域協議会 次第

日時：令和元年6月25日（火）午後6時30分から  
場所：名立区総合事務所 2階第2会議室

### 1 開 会

### 2 報告事項

#### (1) 名立区町内会長会議について

①総合事務所の時間外受付の見直し（案）について…資料No.1・2

②次期総合公共交通計画について（交通政策課）…資料No.3～6

#### (2) 上越市が所有する温浴・宿泊施設等の有効活用に係るサウンディング型 市場調査について（施設経営管理室）…資料No.7

### 3 その他事項

令和元年度第4回地域協議会の開催予定

・令和元年 月 日（ ）午後 時 分から

### 4 閉 会

## 総合事務所の時間外受付の見直し(案)について

上越市自治・市民環境部 自治・地域振興課

## 1 見直しの経緯

- 現在、平日の職員退庁後と土日・祝日の休日においては、市民の利便性の向上を図るため、木田庁舎及び各区総合事務所では、一部の窓口業務を実施しています。
- 主な業務は、出生届、婚姻届、離婚届、死亡届等の「戸籍届の受付」、住民票の写し及び印鑑登録証明書の「時間外交付サービス」です。
- 平成30年度に約1,400の事業を対象として、事務事業の必要性や効率性等を検証する事務事業評価を行う中で、総合事務所の時間外受付における「戸籍届の受付」及び「時間外交付サービス」の実績を調査したところ、いずれの件数も少ない状況にあることが分かりました。
- このような状況から、全ての総合事務所で一律に時間外受付を開設する必要があるかという観点に立って、時間外受付体制を見直すこととしました。

## 2 見直しの概要

## (1) 時間外受付を開設する総合事務所

- 現在、見直しの案として、総合事務所が所管する地域の地理的なまとまりの中で、戸籍届等の時間外受付の実績を考慮して、浦川原区、柿崎区、板倉区の総合事務所では、時間外受付を開設するものとします。
- 上記以外の10区(安塚区、大島区、牧区、大潟区、頸城区、吉川区、中郷区、清里区、三和区及び名立区)の総合事務所では、平日17時15分から翌日8時30分、また、土日・祝日は全日の時間外受付を開設しないものとします。

## (2) 戸籍届等の手続きについて

- 戸籍届等の手続きは、これまでどおり、市民の皆さんがお住いの区にかかわらず、木田庁舎または時間外受付を開設する3か所の総合事務所のどの時間外受付でも手続きすることができます。

## (3) 平日夜間等の総合事務所への電話について

- 時間外受付を開設しない総合事務所に電話をした場合には、木田庁舎や時間外受付を継続する予定の総合事務所に電話が転送されるように設定し、転送先の当直が対応します。

### <電話転送案>

○頸城区、三和区及び名立区	⇒	木田庁舎へ転送
○安塚区及び大島区	⇒	浦川原区総合事務所へ転送
○大瀨区及び吉川区	⇒	柿崎区総合事務所へ転送
○牧区、中郷区及び清里区	⇒	板倉区総合事務所へ転送

#### (4) 防災行政無線について

- 災害時における避難情報の発令等の放送については、これまでどおり職員が対応します。
- 火災の発生・鎮火、停電に関する放送は、消防団の出動命令については、消防団メールにより団員へ出動命令を発出し、参集対応を図っていること等を踏まえ、原則、行いません。  
※火災で大規模な延焼のおそれがある場合や、大規模かつ長時間の停電が生じた場合は、この原則によらず対応を図ります。
- 火災や停電情報を得るための方法については、具体的に別途、お知らせします。
- 市が配信している「安全メール」に登録いただくことで、災害や犯罪、交通事故などに関する情報を携帯電話やパソコンのメールで受け取り、文字情報として確認することができます。

#### (参考)「安全メール」でお知らせする内容

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 防犯情報（不審者情報・事件情報）</li><li>② 防災情報（災害発生情報・避難関係情報・台風接近情報）</li><li>③ 火災情報（火災発生情報・鎮火情報）（注）昼夜を問わず配信</li><li>④ 交通安全情報（交通事故発生情報・防止対策情報）</li><li>⑤ その他（クマ、サルなどの出没情報、行方不明者情報など）</li></ul> |
|--|

#### (参考) コミュニティプラザのご利用について

- コミュニティプラザは、これまでどおり 8 時 30 分から 22 時までご利用いただけます。

### 3 今後の予定

- 見直し案による対応方法について検討や準備を進め、早ければ令和 2 年 4 月から見直した内容で実施したいと考えています。

## 総合事務所時間外受付に係る名立区の状況

## 1 戸籍届受付状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
死亡届	11	15	13
出生届	0	1	0
婚姻届	0	0	2
離婚届等	0	0	1

## 2 証明書交付状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
住民票・印鑑証明	2	6	6

## 3 電話対応状況（平成30年度）

		昼間 (8:30~17:15)	夜間 (17:15~翌8:30)	合計
合計	平日	—	27	27
	休日	27	7	34
	合計	27	34	61
月平均	平日	—	2.3	2.3
	休日	2.3	0.6	2.8
	合計	2.3	2.8	5.1

※火災やクマ目撃の通報など宿日直日誌に記録が残っているものを集計。

## 4 火災発生状況

	平成28年	平成29年	平成30年
年間発生件数	0	0	0
うち時間外 (平日の17:15~翌8:30 休日の全部)	0	0	0

※発生時と鎮火時に防災行政無線で放送。

## 5 時間外受付関連経費（令和元年度契約額）

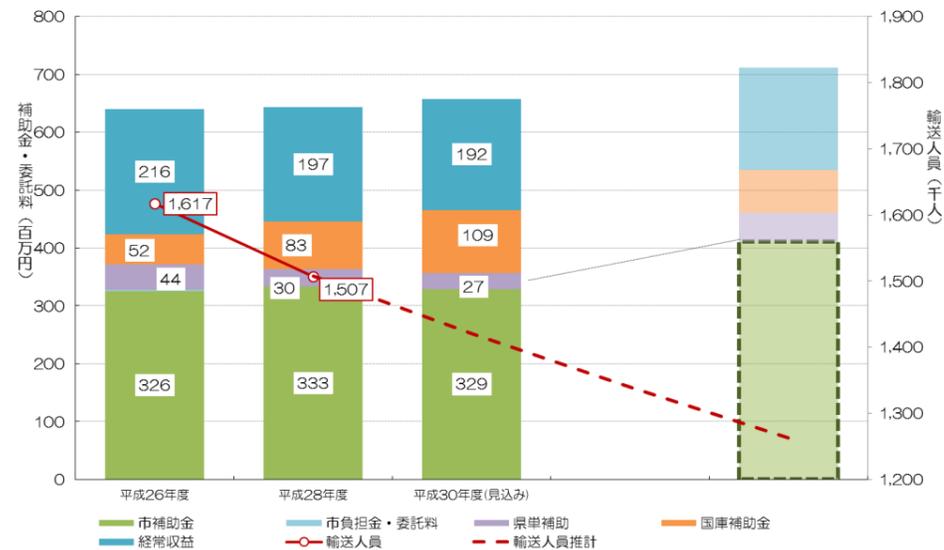
内 容	金 額
時間外受付業務委託	約942万円
機械警備業務委託	—
行政事務嘱託員報酬	約14万円
合 計	約956万円

# 次期総合公共交通計画の策定について

## 1 計画策定の目的

- ・高齢化の進行や運転免許返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細かな公共交通を求める機運が高まっており、住民の需要を的確に捉え、利用しやすく、「乗ってもらえる」公共交通を再構築する必要がある。
- ・一方、少子化や人口減少、自家用車の普及が進む中、公共交通の利用者は減少傾向にあり、安定的な運行を維持するための市の財政負担は年々増大していることから、将来にわたって持続可能な公共交通を確保する必要がある。

### ■路線バス輸送人員並びに収入及び補助金の推移



## 2 計画の概要

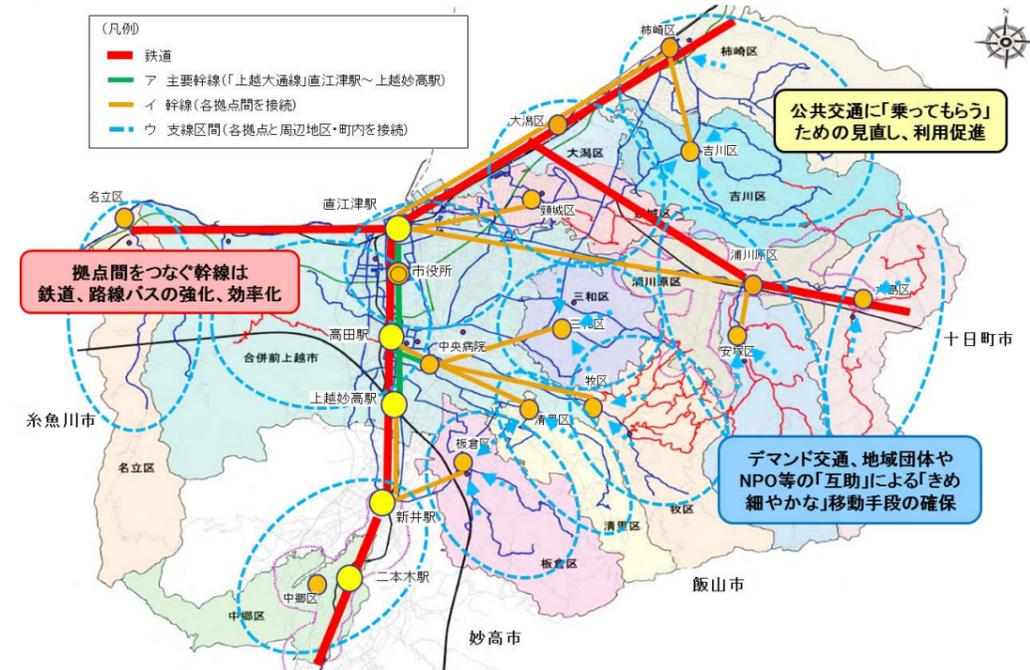
- (1) 計画区域 上越市全域
- (2) 計画期間 中間見直しを含め、令和2年度から8年から10年程度を想定
- (3) 公共交通ネットワークのイメージ

- ・バス路線を、基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定
- ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」や、地域住民のボランティアによる「互助・自助」による移送など、きめ細かで使いやすく、効率的な運行形態を設定
- ・公共交通の維持が困難となっている現状を共有し、住民の参加による検討

## 3 スケジュール

		市全体の検討
R1年	5月～9月	・地域協議会、地区公共交通懇話会、地区懇談会等への説明・意見交換 ・地域住民、バスの利用者との意見交換
	～12月	・計画案の作成
R2年	1月	・パブリックコメント
	3月	・計画の策定

### ■公共交通ネットワークのイメージ



### ■支線における運行形態のイメージ

1人当たり利用頻度		利用人数/便				運行形態【市の支援】		運行本数
多い	少ない	10人以上	4～9人	2～3人	1人	定時	路線バス【運行補助】 スクール混乗バス【市営】	多い
○		○				デマンド		
	○	○				定時	乗合タクシー【運行補助】 自家用有償旅客運送【運行補助】 互助・自助による移送【車両維持費支援】	
○			○			デマンド	相乗りタクシー【運賃補助 週3回】 通院・買い物タクシー【運賃補助 週1回】	
	○				○			

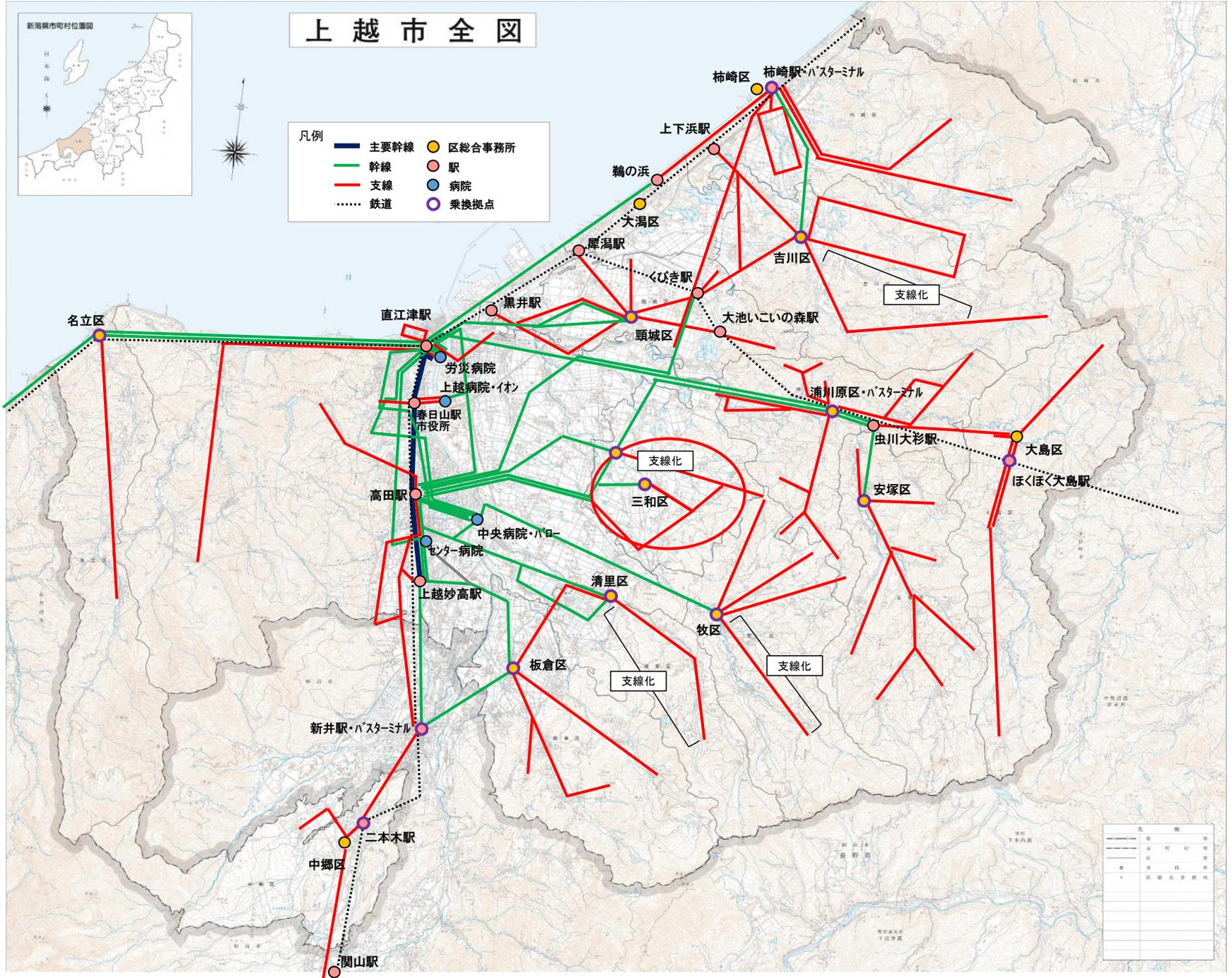
### ■移動手段の例

移動手段	内容
スクール混乗バス	・小中学生のスクールバスに、一般利用者也乗車 ※当市5区で運行
乗合タクシー	・タクシーやジャンボタクシーの車両を使用し、バスのように利用者を持ち合いで輸送 ※中郷区で運行
NPO等による輸送	・公共交通がない地域において、NPO法人や町内会等が、白ナンバーの自家用車でバスを運行 ※妙高市、長岡市、魚沼市で事例あり
民間企業等が運営する循環バス	・商店街などがバス会社へ委託などによりバスを運行 ※高松市丸亀町商店街振興組合「まちバス」
互助・自助による輸送	・地域の自治会やNPO法人が、自ら運行ルートやダイヤを決め、地域の助け合いで利用者を輸送 ※新潟市「住民バス」
タクシーの運賃助成	・タクシーの運賃割引を受けることができる利用券を配付(相乗りは割引率が高い) ※前橋市で実施



# 上越市全図

- 凡例
- 主要幹線
  - 区総合事務所
  - 幹線
  - 駅
  - 支線
  - 病院
  - 鉄道
  - 乗換拠点



区	色
名立区	紫
直江津区	緑
黒井区	赤
頸城区	オレンジ
吉川区	黄
大湊区	薄緑
犀潟区	薄青
大島区	薄紫
安塚区	薄オレンジ
三和区	薄赤
清里区	薄緑
牧区	薄青
板倉区	薄オレンジ
中郷区	薄紫
関山区	薄赤

## 名立区の市営バスにおける具体的な改善策について

### 1 今年度の公共交通懇話会での取組

#### (1) 前年度の公共交通懇話会の開催状況 (H30. 6、H30. 12、H31. 2 の3回開催)

- 上越市次期総合公共交通計画の概要 (R2～) 及び名立区における市営バスの状況について現状を把握した。
- 事務局で実施した高齢者を中心とした聞き取り調査の結果等から市営バスに係る課題を把握し、改善の方向性を確認し、具体的な改善策について検討した。

### 2 具体的な改善案の詳細の検討

前年度の懇話会で、聞き取りなどのこれまでの各種調査、委員の皆さんからの意見等を踏まえ、年々増大している市の財政負担の軽減を考慮し、安定的な運行を維持するための改善案を検討してきた。今年度は、この改善案について詳細を検討する。

#### (1) 高校生等の客層の取込み

##### ○学生定期券の導入 (R3. 4 から導入予定)

バスの学生定期券の種類及び価格 (案) ※路線バスの計算方法を参考とした。

種類	1 か月	3 か月	6 か月
運賃 (片道)	200円	200円	200円
日数	30日	90日	180日
割引率または計算方法	約36%	1か月定期の価格 ×3か月×95%	1か月定期の価格 ×6か月×90%
価格 (往復定期)	7,680円	21,890円	41,470円
価格 (片道定期) ※往復定期の概ね半額	3,840円	10,950円	20,740円
(参考) 往復で回数券を利用した場合の価格	10,800円	32,400円	64,800円
(参考) 往復定期券と回数券の差額	※1 3,120円	※2 10,510円	23,330円

#### 【経費及び効果】

**経費**：回数券を利用して通学している高校生の定期券との差額

(例1) 現在市営バスを使って毎日通学している高校生3人が往復定期を利用すると (1か月×1回、3か月×3回)

$$3人 \times \{ \text{※1} 3,120円 \times 1回 + \text{※2} 10,510円 \times 3回 \} = \underline{103,950円}$$

の収入が減となる。

※1 1か月往復定期券と回数券との差額

※2 3か月往復定期券と回数券との差額

**効果**：高校生等の利用者の増加、収入増及び保護者の負担軽減

(例2) 南部地区の高校生が往復定期(1か月×1回、3か月×3回)を利用すると

$$1 \text{人あたり } 7,680 \text{円} \times 1 \text{枚} + 21,890 \text{円} \times 3 \text{枚} = \underline{73,350 \text{円}}$$

の売り上げとなる。

(例1) 及び(例2) より、毎日通学している高校生3人に加え、新規で2人、計5人の高校生が往復定期を利用すれば定期導入にかかる経費を賄うことができる。6人以上の高校生が往復定期を利用すれば、1人につき73,350円の収入増となる。

## (2) 高校生の帰宅に合わせた便の運行

名立区の市営バスにおいて、夜間の時間帯にどの程度市営バス利用者が見込めるか把握するために、19:00~22:00の間に名立駅で降りる「えちごトキめき鉄道」利用者の調査を3日間実施した。

### ①1日目：平成31年1月11日(金)

上り・下り	発車時刻	高校生		一般	計	
		うち北部	うち南部			
上り(直江津から)	19:25	5	4	1	2	7
下り(糸魚川から)	19:48	4	2	2	0	4
上り(直江津から)	20:34	3	1	2	1	4
下り(糸魚川から)	21:02	0	0	0	0	0
上り(直江津から) <sup>※4</sup>	21:39	-	-	-	-	-
下り(糸魚川から)	21:42	0	0	0	0	0
計		12	7	5	3	15

### ②2日目：平成31年4月25日(木)

上り・下り	発車時刻	高校生		一般	計	
		うち北部	うち南部			
上り(直江津から)	19:24	7	6	1	2	9
下り(糸魚川から)	19:48	0	0	0	0	0
上り(直江津から)	20:34	4	2	2	3	7
下り(糸魚川から)	21:02	0	0	0	1	1
上り(直江津から)	21:39	1	1	0	0	1
下り(糸魚川から)	21:41	1	1	0	0	1
計		13	10	3	6	19

### ③3日目：令和元年5月8日(水)

上り・下り	発車時刻	高校生		一般	計	
		うち北部	うち南部			
上り(直江津から)	19:25	3	2	1	0	3
下り(糸魚川から)	19:48	0	0	0	0	0
上り(直江津から)	20:34	3	1	2	1	4
下り(糸魚川から)	21:02	0	0	0	1	1
上り(直江津から) <sup>※4</sup>	21:39	-	-	-	-	-
下り(糸魚川から)	21:42	0	0	0	2	2
計		6	3	3	4	10

※4 21時39分名立駅着の糸魚川行きは3月のダイヤ改正で減便となった。

調査結果からは、継続的なバス乗車の可能性がある南部方面の高校生の利用は少なく、またバス運行を1便増便すると年間約1,434千円の経費が増加する見込みであることから、現時点では夜間便の運行については実施しないこととする。

### (3) 土休日の利用促進や回送の見直し

#### ①回送の見直し

16時44分うみてらす名立発南部行き便が終点の東飛山に17時12分に到着した後の回送を折り返し北部行き便に設定する。

#### ②公民館事業及び区内イベントとの連携

○イベント主催者等と連携し、土休日便の時刻及び公民館事業や区内イベントとの時間の調整等を行い、土休日便の利用促進を図る。

#### ③お得な乗車券の導入 (R3.4から導入を計画)

◎(仮)市営バス東飛山線サポーター乗車券(土休日の乗り放題乗車券)の導入の検討

##### 【目的】

- 土休日のイベントや施設利用等に市営バスを利用してもらうことにより、地域でのバス利用促進及びイベント等での地域の方々との交流の促進を図る。
- 児童、生徒や高齢者等の貴重な交通手段となっている市営バスの応援意識の醸成により、市営バスの維持に貢献する。

##### 【対象者及び範囲】

- サポーター乗車券を所持している世帯員全員  
(乗車券に世帯員の氏名を入れる)

##### 【対象期間】

- 乗車券発行日から当該年度末までの土休日

##### 【価格】

- 1世帯 2,000円

#### <参考 価格設定について>

世帯で1年間にイベントに1回、施設利用に1回バスを利用してもらう  
(1人当たりのバス利用に係る費用)

・イベント	1回	400円
・施設利用	1回	400円

---

計 800円

名立区の1世帯当たりの人数（H31.4.1現在）約2.5人／世帯

（1世帯当たりのバス利用料金）

$$2.5 \text{ 人／世帯} \times 800 \text{ 円} = 2,000 \text{ 円}$$

**効果**：市営バスの応援意識の醸成、イベントや施設利用数の増加及び収入の増加  
100世帯が乗車券を購入した場合

$$\text{年間} : 2,000 \text{ 円} \times 100 \text{ 世帯} = \underline{\underline{200 \text{ 千円の収入増}}}$$

<参考 収入見込みの世帯数設定について>

100世帯（名立区全世帯数の約1割）

# 地域別公共交通の再編の方向性（名立区）

## 1 路線バスの乗降調査結果（名立線、能生線）

### (1) 名立線の利用状況（1日3便運行）

#### ①名立コミュニティプラザ前から労災病院前方面（平日）

1便(7月9日(月)、13日(金))		2便(7月6日(金)、9日(月))		3便(7月9日(月)、13日(金))	
発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴
コミプラ前発 ↓ 7:26	・谷浜小登校:15人(鍋ヶ浦、茶屋ヶ原、丹原) ・直江津中、中等生徒 3人 ・通院 3人・通所 1人 ・病院での看病 1人 ・その他 3人	コミプラ前発 ↓ 9:16	・通勤 3人 ・買い物 2人 ・通院 2人 ・お見舞い 1人	コミプラ前発 ↓ 14:50	
労災病院前着 延べ 乗車人数 26人		労災病院前着 延べ 乗車人数 8人		労災病院前着 延べ 乗車人数 0人	
1日平均乗車人数 13人	(主な利用者) 児童(行きのみ、帰りは保護者が迎えに来るとのこと)	1日平均乗車人数 4人	(主な利用者) 高齢者	1日平均乗車人数 0人	(主な利用者)

#### ②名立コミュニティプラザ前から労災病院前方面（土曜日）

1便(7月7日(土))		2便(7月21日(土))		3便(7月7日(土)、7月28日(土))	
発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴
コミプラ前発 ↓ 7:56	・通所 2人 ・病院での看病 1人	コミプラ前発 ↓ 9:25	・友人と会う 1人	コミプラ前発 ↓ 14:50	
労災病院前着 延べ 乗車人数 3人		労災病院前着 延べ 乗車人数 1人		労災病院前着 延べ 乗車人数 0人	
1日平均乗車人数 3人	(主な利用者) ・障害者、高齢者	1日平均乗車人数 1人	(主な利用者) 高齢者	1日平均乗車人数 0人	(主な利用者)

#### ③労災病院前から名立コミュニティプラザ前方面（平日）

1便(7月9日(月)、13日(金))		2便(7月6日(金)、9日(月))		3便(7月9日(月)、13日(金))	
発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴
労災病院前発 ↓ 8:25		労災病院前発 ↓ 12:45	・通院 2人 ・通勤 1人 ・買い物 1人	労災病院前発 ↓ 17:04	・通所 4人 ・病院での看病 2人
コミプラ前着 延べ 乗車人数 0人		コミプラ前着 延べ 乗車人数 4人		コミプラ前着 延べ 乗車人数 7人	
1日平均乗車人数 0人	(主な利用者)	1日平均乗車人数 2人	(主な利用者) ・高齢者	1日平均乗車人数 4人	(主な利用者) ・障害者、高齢者

#### ④労災病院前から名立コミュニティプラザ前方面（土曜日）

1便(7月7日(土)、21日(土))		2便(7月28日(土))		3便(7月7日(土))	
発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴	発着時刻	利用者の特徴
労災病院前発 ↓ 8:40		労災病院前発 ↓ 12:45		労災病院前発 ↓ 17:04	・通所 1人
コミプラ前着 延べ 乗車人数 0人		コミプラ前着 延べ 乗車人数 0人		コミプラ前着 延べ 乗車人数 1人	
1日平均乗車人数 0人	(主な利用者)	1日平均乗車人数 0人	(主な利用者)	1日平均乗車人数 1人	(主な利用者) ・障害者

※色付きの時間帯は能生線と時間帯が近い便

## (2) 能生線の利用状況 (1日2便運行)

## ①能生案内所から労災病院前方面 (平日)

1便(7月10日(火)、11日(水))			2便(7月17日(火)、19日(木))		
発着時刻		利用者の特徴	発着時刻		利用者の特徴
能生案内所発	7:29	・磯部小児童(能生) 38人 ・通院 10人 (能生7人、名立1人、合併前上越市2人) ・買い物 5人(能生4人、合併前上越市1人) ・中等生徒 1人・その他 1人 (主な利用者) ・磯部小児童、能生方面からの通院及び買い物客	能生案内所発	14:09	・買い物 2人 ・通院 1人 (いずれも能生の利用者) ・不明 1人 (主な利用者) ・能生での買い物客の帰宅
↓	↓		↓	↓	
労災病院前着	8:20		労災病院前着	14:59	
延べ乗車人数	55人		延べ乗車人数	4人	
1日平均乗車人数	28人		1日平均乗車人数	2人	

## ②能生案内所から労災病院前方面 (土曜日)

1便(7月7日(土))			2便(7月7日(土))		
発着時刻		利用者の特徴	発着時刻		利用者の特徴
能生案内所発	7:29	・通院 1人(能生) (主な利用者)	能生案内所発	14:09	・遊びに行く 1人(能生) ・通勤 1人(能生) (主な利用者)
↓	↓		↓	↓	
労災病院前着	8:20		労災病院前着	14:59	
延べ乗車人数	1人		延べ乗車人数	1人	
1日平均乗車人数	1人		1日平均乗車人数	1人	

## ③労災病院前から能生案内所方面 (平日)

1便(7月17日(火)、19日(木))			2便(7月10日(火)、11日(水))		
発着時刻		利用者の特徴	発着時刻		利用者の特徴
労災病院前発	11:55	・磯部小児童(能生) 12人 ・通院 9人(合併前上越市6人、名立1人、能生2人) ・買い物 6人(合併前上越市3人、名立1人、能生2人) ・親の介護 1人(能生1人) ・不明 2人 (主な利用者) ・磯部小児童、合併前上越市からの通院や買い物客の帰宅	労災病院前発	15:05	・磯部小児童(能生) 20人 ・通院 1人(能生) ・通勤 1人(名立) ・買い物 2人(能生1人、合併前上越市1人) (主な利用者) ・磯部小学校児童、能生からの買い物客の帰宅
↓	↓		↓	↓	
能生案内所着	12:45		能生案内所発	15:55	
延べ乗車人数	30人		延べ乗車人数	24人	
1日平均乗車人数	15人		1日平均乗車人数	12人	

## ④労災病院前から能生案内所方面 (土曜日)

1便(7月7日(土))			2便(7月7日(土))		
発着時刻		利用者の特徴	発着時刻		利用者の特徴
労災病院前発	11:55	・通勤 1人(合併前上越市) (主な利用者)	労災病院前発	15:05	・通勤 1人(名立) ・遊びからの帰り 1人(能生) (主な利用者)
↓	↓		↓	↓	
能生案内所着	12:45		能生案内所発	15:55	
延べ乗車人数	1人		延べ乗車人数	2人	
1日平均乗車人数	1人		1日平均乗車人数	2人	

※色付きの時間帯は名立線と時間帯が近い便

## 2 路線の収支状況及び存続・運行主体の方向性

No.	路線	収支等の状況(路線バスはH30決算見込み、市営バスはH29決算)											再編の考え方①	
		区分	経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損 (千円)	収支率	国県補助 (千円)	市補助 (千円)	年間利用者数 (人)	市補助/ 利用者1 人(円)	1便当たり 利用者数 (人)	平均乗 車密度	区分	内容
1	名立線(1)	幹線	12,196	1,219	10,977	10.0%	2,872	8,105	6,371	1,272	2.9	0.5	Ⅲ運行の効率化	・能生線、桑取線との重複解消、減便等を検討
2	能生線	幹線	10,746	3,140	7,606	29.2%	1,386	2,847	13,051	218	11.3	2.0	Ⅳ現状維持	・「現状維持」であるが、名立線、桑取線との重複があるため、重複の解消、減便等を検討
3	市営バス	支線	17,693	1,025	16,668	5.8%	4,910	16,668	51,437	324	8.7	-	Ⅳ現状維持	・現状維持とし、利便性の向上を検討
合計			40,634	5,384	35,251	13.2%	9,168	27,620	70,859	390	7.7	-		

## 3 サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

No.	路線	利用の実態				再編の考え方①	
		利用の傾向 (乗降調査) ※	利用の特徴 (乗降調査)	区分	内容	区分	内容
1	名立線(1)	A・Bーア	・朝は通勤通学、夕は通勤の利用 ・昼、労災病院周辺は利用少	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起、減便	・名立線、能生線、桑取線の重複解消(重複している時間帯:7時、14時、15時台の労災病院行、12時台の労災病院発)の検討とあわせ、利用の少ない便(朝の名立方面行)のダイヤ変更、減便を検討		
2	能生線	Aーア	・朝は磯部小の通学と能生方面からの通院 ・昼は通院、下校利用 ・直江津方面行の昼は利用少	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起、減便			
3	市営バス	Aーイ	・朝夕は通学利用が主 ・朝は通院利用あり ・昼は利用少	・利用喚起	・高校生等を対象とした学生定期券、土休日の乗り放題乗車券の導入等の利用促進策の検討		

### ■利用の傾向及び再編の考え方

利用の傾向		再編の考え方(サービス改善の方向性)
A	利用時間帯に偏りあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用が多い時間帯の定時便化</li> <li>・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起</li> <li>・利用が少ない時間帯の減便</li> </ul>
B	利用区間に偏りあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用が多い区間の維持</li> <li>・利用が少ない区間のサービス向上、利用喚起</li> <li>・利用が少ない区間のルート見直し</li> <li>・幹線、支線の分割</li> </ul>
C	利用がほとんどない	—
D	時間・区間に関わらず利用あり	・更なる利便性の向上
ア	利用目的に偏りあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の多い目的のための更なる改善</li> <li>・利用の少ない目的のためのダイヤ変更、サービス向上</li> </ul>
イ	利用目的に偏りなし	・更なる利便性の向上

# 地域別公共交通の再編の方向性（名立区）

## 再編前

### 31 名立線

区間：名立コミュニティプラザ前～うみてらす名立前～労災病院前								
行先	曜日	便数	コミプラ前発	うみてらす名立前	新有間川	直江津ショッピングセンター前	労災病院前着	再編の方向性
労災病院前	平日	3便	7:26	7:28	7:38	7:54	8:01	①
			9:16	9:18	9:28	9:44	9:51	
	土休日	3便	14:50	14:52	15:02	14:52	15:25	②
			7:56	7:58	8:08	8:24	8:31	①
			9:25	9:27	9:37	9:53	14:52	
			14:50	14:52	15:02	15:18	15:25	②
行先	曜日	便数	労災病院前発	直江津ショッピングセンター前	新有間川	うみてらす名立前	コミプラ前着	再編の方向性
コミプラ前	平日	3便	8:25	8:32	8:48	8:58	9:00	③
			12:45	12:52	13:08	13:18	13:20	④
	土休日	3便	17:04	17:11	17:27	17:37	17:39	
			8:40	8:47	9:03	9:13	9:15	
			12:45	12:52	13:08	13:18	13:20	④
			17:04	17:11	17:27	17:37	17:39	

※土休日便は土日祝及び8/15・8/16、12/29～12/31、1/2、1/3の運行、元日は運休

### 32 能生線

区間：能生案内所～うみてらす名立前～労災病院前								
行先	曜日	便数	能生案内所発	うみてらす名立前	新有間川	直江津ショッピングセンター前	労災病院前着	再編の方向性
労災病院前	平日	2便	7:29	7:47	7:57	8:13	8:20	①
			14:09	14:26	14:36	14:52	14:59	②
	土	2便	7:29	7:47	7:57	8:13	8:20	①
			14:09	14:26	14:36	14:52	14:59	②
行先	曜日	便数	労災病院前発	直江津ショッピングセンター前	新有間川	うみてらす名立前	能生案内所着	再編の方向性
能生案内所	平日	2便	11:55	12:02	12:18	12:28	12:45	④
			15:05	15:12	15:28	15:38	15:55	
	土	2便	11:55	12:02	12:18	12:28	12:45	④
			15:05	15:12	15:28	15:38	15:55	

※日祝及び8/15・8/16、12/29～1/3は運休

名立線と能生線の表において薄茶色で網掛けしている区間は両線で重複している区間  
また、薄茶色で網掛けしている時間帯は両線で時間帯が近い便

## 再編後（案）

### 31 名立線

### 32 能生線

区間：能生案内所～名立コミュニティプラザ前～うみてらす名立前～労災病院前								
行先	曜日	便数	能生案内所発	コミプラ前	うみてらす名立前	新有間川	直江津ショッピングセンター前	労災病院前着
労災病院前	平日	3便	①7時台					
			—	9時台(コミプラ前始発)				
	土	3便	②14時台					
			—	9時台(コミプラ前始発)				
	日祝	3便	①7時台					
			—	7時台(コミプラ前始発)				
			—	9時台(コミプラ前始発)				
			—	14時台(コミプラ前始発)				
行先	曜日	便数	労災病院前発	直江津ショッピングセンター前	新有間川	うみてらす名立前	コミプラ前	能生案内所着
能生案内所 またはコミプラ前	平日	3便	④12時台					
			15時台					
	土	3便	17時台(コミプラ前止まり)					—
			④12時台					
	日祝	2便	15時台					
			17時台(コミプラ前止まり)					—
			12時台(コミプラ前止まり)				—	
			17時台(コミプラ前止まり)				—	

※日祝便は日祝および8/15、8/16、12/29～12/31、1/2、1/3の運行、元日は運休

#### 名立線、能生線の再編の方向性

- 名立線、能生線、桑取線の重複解消による効率化
  - ①7時台の労災病院行きの名立線と能生線の一本化を検討
  - ②14時台、15時台の労災病院行きの名立線と能生線の一本化を検討
  - ③8時台の労災病院発の名立線を廃止
  - ④昼の労災病院発の名立線と能生線の一本化を検討
- 能生線の名立コミュニティプラザ前への乗入れ（上表緑色）

この再編の方向性を6月11日の公共交通懇話会で説明・協議し、今後以下のとおり検討を進める。

- ・沿線（谷浜地区、直江津地区）の学校との通学利用に係る調整
- ・一般の利用者への影響の確認
- ・バス事業者とのバスの運行に係る調整

### 名1 市営バス東飛山線

区間：名立コミュニティプラザ前（うみてらす名立前）～東飛山  
 コミプラ前発→東飛山着 平日：10便 土休日：5便  
 東飛山発→コミプラ前着 平日：10便 土休日：4便

#### 市営バス東飛山線の改善

- 高齢者以外に利用が見込める客層の取込み（学生定期券の導入等）
- 公共施設やイベントと連携した土休日便の利用促進及び回送の見直し

### 名1 市営バス東飛山線

区間：名立コミュニティプラザ前（うみてらす名立前）～東飛山  
 コミプラ前発→東飛山着 平日：10便 土休日：5便  
 東飛山発→コミプラ前着 平日：10便 土休日：5便（回送便を貸送便に変更）

# 第1回 上越市が所有する温浴・宿泊施設等の有効活用に係るサウンディング型市場調査の実施要領



## 1 調査の目的

調査の目的は次のとおりです。

- 上越市では「公共施設の適正管理の推進」として、維持管理コストの削減のほか、機能が重複する施設の適正配置や民間譲渡を行うことで、施設総量の抑制と維持すべき施設の長寿命化に取り組んでいます。
  - その中でも、温浴・宿泊施設等のカテゴリーに該当する施設は、市町村合併に伴い多数の施設を所有しており、これら施設の有効活用策や方向性を検討し、実行することが喫緊の課題となっております。
  - そのためには具体策として、施設の収支状況の改善策や用途変更を含む有効活用策のほか、その実施手法や市場性の有無などを把握・整理することが必要であります。
  - そこで今回、民間事業者等の皆さんの経験やノウハウを活用し、様々な提案や意見をお聞きすることを目的に、「サウンディング型市場調査」を実施するものです。
  - なお、温浴・宿泊施設等を対象とする「サウンディング型市場調査」は、施設数が多いため、今年度において、全2回、実施する予定です。
- ※ サウンディング型市場調査とは、民間事業者等の皆さんから、「対話」を通じて施設の有効活用策のアイデアや市場性の有無について把握する調査のことです。

## 2 調査の対象施設

調査の対象施設は次のとおりです。各施設の概要等については、別紙資料をご覧ください。

なお、複数の対象施設への提案なども可能です。

### 【温浴・宿泊施設等】

No.	施設名（条例上の名称）	主な機能	管理形態	概要
1	キューピットバレイスキー場、 雪だるま温泉雪の湯 （安塚雪だるま高原） ほか	スキー場 キャンプ場 日帰り入浴 宿泊	三セク等 指定管理	別紙 1
2	うみてらす名立	宿泊 日帰り入浴 飲食 プール	三セク等 指定管理	別紙 2
3	大湯健康スポーツプラザ鶉の浜人魚館	日帰り入浴 飲食 プール	三セク等 指定管理	別紙 3
4	吉川ゆったりの郷	日帰り入浴 飲食	三セク等 指定管理	別紙 4
5	柿崎マリンホテルハマナス	宿泊 日帰り入浴 飲食	三セク等 指定管理	別紙 5
6	ゑしんの里やすらぎ荘 （板倉保養センター）	宿泊 日帰り入浴 飲食	三セク等 指定管理	別紙 6
7	三和ネイチャーリングホテル米本陣	宿泊 日帰り入浴 飲食	三セク等 指定管理	別紙 7
8	くわどり湯ったり村 （リフレッシュビレッジ施設）	宿泊 日帰り入浴 飲食	三セク等 指定管理	別紙 8

### 【休止中の施設等】

No.	施設名（条例上の名称）	主な機能	管理形態 （従前）	概要
9	山荘京ヶ岳 （清里農村体験宿泊休憩施設）	宿泊 日帰り入浴 飲食	休止中 （直営）	別紙 9
10	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	日帰り入浴 飲食	休止中 （直営）	別紙 10
11	大島あさひ荘	宿泊 日帰り入浴 飲食	休止中 （民間指定 管理）	別紙 11
12	三和味の謎蔵、三和米と酒の謎蔵	飲食 博物館	休止中 （三セク等 指定管理 ・直営）	別紙 12

### 3 調査の参加資格

調査の参加資格は次のとおりです。

- 参加者は、対象施設の有効活用に当たり、実施主体となる意向を有する法人又は法人のグループ、それら法人又は法人グループへの仲介事業者とし、現在、指定管理や業務委託により該当施設を管理運営している民間事業者や第三セクター等も含むものとし、
- ただし、次のいずれかに該当する場合は除くものとし、

- ① 上越市暴力団の排除の推進に関する条例に規定する暴力団若しくは暴力団員等又は暴力団若しくは暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有するもの
- ② 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定により、一般競争入札の参加を制限されているもの

### 4 調査のスケジュール

調査のスケジュールは次のとおりです。

1	実施要領の公表	6月17日（月）
2	事前説明会・現地見学会の申込期限	7月11日（木）
3	事前説明会 ※詳細はP.4～5を参照	7月16日（火）
4	現地見学会 ※詳細はP.5～6を参照	①個別見学会 7月18日（木）～26日（金） ②フリー見学会 7月17日（水）～26日（金）
5	市場調査の申込期限	8月2日（金）
6	実施日時及び場所等の通知	8月7日（水）～9日（金）
7	市場調査（対話）の実施	8月19（月）～30日（金）
8	実施結果概要の公表	9月予定

## 5 調査の内容

調査の内容は次のとおりです。

### (1) 対象施設の有効活用策

分類	項目
基本事項	<p>1 有効活用策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 利用促進策 集客のアイデア、イベントの提案 など</li><li>② 収支状況の改善策 売上の向上策、経費の縮減策 など</li><li>③ 施設・設備の改修・更新の方策 リニューアルやPFI活用の提案 など</li><li>④ 用途変更を含む活用策 (例) ホテルから合宿所、 日帰り入浴施設からデイサービスセンター など</li><li>⑤ 事業譲渡の意向 施設や一部事業の引受 など</li><li>⑥ その他 業務提携や連携の提案 など</li></ul> <p>2 有効活用を実施するに当たっての課題</p>
任意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>○ スケジュール</li><li>○ 資金計画</li><li>○ 土地・建物の活用部分(全部・一部)</li><li>○ 土地・建物の所有形態(購入・賃貸)</li><li>○ 行政に求める支援・配慮事項</li><li>○ 提案内容の背景・関連実績</li><li>○ その他</li></ul>

### (2) その他の提案

上記に限らず、その他の提案についても広く意見をお聞きします。

## 6 事前説明会及び現地見学会 ※申込方法

事前説明会及び現地見学会は次のとおりです。必要に応じてお申し込みください。

### (1) 事前説明会

- ・ 日 時：7月16日(火) 午後2時から
- ・ 会 場：上越市春日謙信交流館  
上越市春日山町3丁目1番60号  
電話 025-521-2066

※ 遠方より参加される場合などで、別の日に施設の見学と併せて説明を希望される場合は、別途、相談させていただきます。

## (2) 現地見学会

### ① 個別見学会

- ・ 市が主催する各施設の個別見学会を次のとおり開催します。
- ・ 当日は、簡単な質疑応答のみとし、詳細な質問等は、後日、一括して回答することとします。

#### 【温浴・宿泊施設等】

No.	施設名	日時
1	キューピットバレイスキー場、 雪だるま温泉雪の湯 ほか	7月18日(木) 午前10時30分から
2	うみてらす名立	7月19日(金) 午前10時30分から
3	大湯健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館	7月22日(月) 午前10時30分から
4	吉川ゆったりの郷	7月25日(木) 午前10時30分から
5	柿崎マリンホテルハマナス	7月25日(木) 午後2時00分から
6	糸しんの里やすらぎ荘	7月22日(月) 午後2時00分から
7	三和ネイチャーリングホテル米本陣	7月26日(金) 午前10時30分から
8	くわどり湯ったり村	7月26日(金) 午後2時00分から

#### 【休止中の施設等】

No.	施設名	日時
9	山荘京ヶ岳	7月24日(水) 午前10時30分から
10	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	7月23日(火) 午前10時30分から
11	大島あさひ荘	7月23日(火) 午後2時00分から
12	三和味の謎蔵、三和米と酒の謎蔵	7月24日(水) 午後2時00分から

## ② フリー見学会

7月17日（水）～26日（金）※各施設の休館日は除く。

- 希望する日時にフリーで施設を見学することができます。
- 見学には、市から配布される証明書が必要となります。
- 見学希望者は、予め見学を希望する日時を市に連絡してください。
- 施設の雰囲気を見学することを目的としておりますので、施設や設備、備品などの詳細確認、施設管理者への質疑応答はできません。
- 客室やお風呂の見学については、お客様に配慮してください。

## (3) エントリー方法（事前説明会、個別見学会、フリー見学会）

参加希望者は、次のとおり電子メールでお申し込みください。

- 宛 先：shisetsu-keiei@city.joetsu.lg.jp
- 件 名：参加申込み（法人等名称）
- 記 載 事 項：①参加区分（事前説明会、個別見学会、フリー見学会）  
②区分ごとの参加人数、③担当者氏名、④法人等の所在地、  
⑤法人等の電話番号、⑥希望施設名を記載してください。
- 申 込 期 限：7月11日（木）

## 7 市場調査（対話） ※申込方法

市場調査は次のとおりです。

### (1) 実施概要

- 期 日：8月19日（月）～30日（金） ※土日は除く
- 時間・場所：別途、市から連絡します。
- 所要時間：30～60分程度／1施設1法人当たり
- 資料提出：必要に応じ提出してください。必須ではありません。

### (2) エントリー方法

参加希望者は、次のとおり電子メールでお申し込みください。

- 宛 先：shisetsu-keiei@city.joetsu.lg.jp
- 件 名：参加申込み（法人等名称）
- 添 付 資 料：エントリーシートに必要事項を記載し添付してください。
- 申 込 期 限：8月2日（金）

## 8 結果の公表

- 調査（対話）の結果は、市ホームページで概要を公表します。
- 公表内容については、事前に参加者に確認する予定です。
- 参加者の名称や企業ノウハウに関する内容は公表しません。

## 9 調査の留意事項

調査の留意事項は次のとおりです。

### (1) 参加者及び対話内容の取扱い

サウンディング型市場調査への参加実績は、今後、実施を予定する事業者の公募等における評価の対象とはなりません。

また、対話の内容は、今後の検討における参考とさせていただくものであり、あくまで対話時点での想定のものとし、何ら事業化などを約束するものではないことをご理解ください。

### (2) 費用負担

サウンディング型市場調査への参加や資料作成に要する費用は、参加者の負担となります。

### (3) 追加対話への協力

本サウンディング終了後も、必要に応じて追加の対話（文書照会含む。）やアンケート等を実施させていただくことがあります。その際にはご協力をお願いいたします。

## 10 その他

第2回のサウンディング型市場調査は、次の施設を対象とし、10月以降に実施を予定しております。

この中で、第1回の対象施設に係る有効活用策等の提案（対話）をいただくことも可能です。

No.	施設名（条例上の名称）	主な機能	管理形態
1	市民いこいの家	日帰り入浴	民間 指定管理
2	上越リゾートセンターくるみ家族園	日帰り入浴 飲食	民間 指定管理
3	ろばた館	日帰り入浴 飲食	三セク等 業務委託
4	牧湯の里深山荘	宿泊 日帰り入浴 飲食	民間 指定管理
5	吉川スカイトピア遊ランド	宿泊 日帰り入浴 飲食	三セク等 指定管理
6	糸しんの里記念館	博物館 集会室	三セク等 指定管理
7	ヨーデル金谷 (リフレッシュビレッジ施設)	飲食	三セク等 指定管理

## 1 1 問合せ先

調査について、ご不明な点などがございましたら、下記担当までお問い合わせください。

また、各施設の詳細について質問等がございましたら、各施設概要に記載の連絡先までお問い合わせください。

### 【問合せ先】

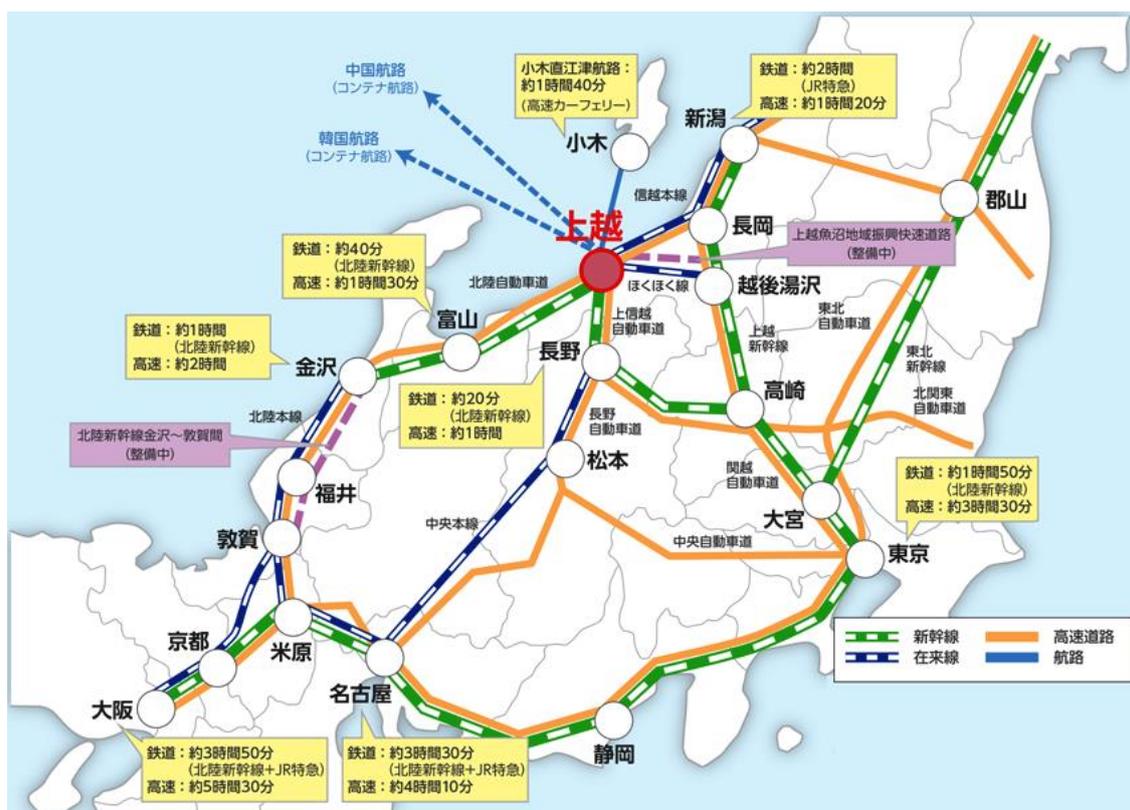
上越市 産業観光交流部 施設経営管理室 担当：小関、竹下

住所：〒943-8601 新潟県上越市木田一丁目1番3号

電話：025-526-5111（内線：1315）

メール：shisetsu-keiei@city.joetsu.lg.jp

## ◆ 上越市アクセスマップ



# 温浴・宿泊施設等の有効活用に向けて 民間事業者等との対話（市場調査）を実施します。

キューピットバレイスキー場ほか



うみてらす名立



鵜の浜人魚館



吉川ゆったりの郷



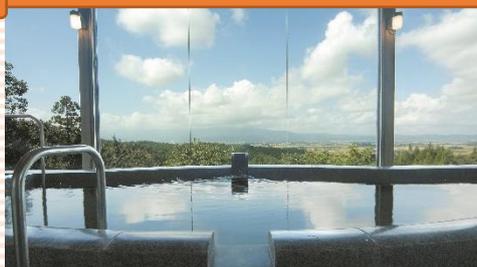
柿崎マリンホテルハマナス



糸しんの里やすらぎ荘



三和ネイチャーリングホテル米本陣



くわどり湯ったり村



▼ 民間事業者等の皆さんから、「対話」を通じて施設の有効活用策のアイデアや市場性の有無について把握するために調査を実施します。今年度、上越市においては、全2回の調査を実施する予定です。

【事前説明会】 日時 令和元年7月16日（火）午後2時から 会場 上越市春日謙信交流館  
【現地見学会】 期日 令和元年7月17日（水）～26日（金）  
◆事前説明会、現地見学会ともに令和元年7月11日（木）までにお申し込みください。

【市場調査（対話）】 期日 令和元年8月19日（月）～30日（金）  
◆令和元年8月2日（金）までにお申し込みください。

※ 詳細については、実施要領をご覧ください。実施要領は市ホームページからも確認できます。

上越市 温浴 サウンディング

検索

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/shisetsu-keiei/onyoku-sounding.html>

上越市 産業観光交流部 施設経営管理室

〒943-8601 新潟県上越市木田 1-1-3

TEL 025-526-5111(内線 1315) FAX 025-526-6113 E-mail shisetsu-keiei@city.joetsu.lg.jp

## 対象施設

### 【温浴・宿泊施設等】

No.	施設名	主な機能
1	キューピットバレイスキー場 ほか	スキー場、キャンプ場、宿泊、日帰り入浴
2	うみてらす名立	宿泊、日帰り入浴、飲食、プール
3	鵜の浜人魚館	日帰り入浴、飲食、プール
4	吉川ゆったりの郷	日帰り入浴、飲食
5	柿崎マリンホテルハマナス	宿泊、日帰り入浴、飲食
6	糸しんの里やすらぎ荘	宿泊、日帰り入浴、飲食
7	三和ネイチャーリングホテル米本陣	宿泊、日帰り入浴、飲食
8	くわどり湯ったり村	宿泊、日帰り入浴、飲食

### 【休止中の施設等】

No.	施設名	主な機能
9	山荘京ヶ岳	宿泊、日帰り入浴、飲食
10	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	日帰り入浴、飲食
11	大島あさひ荘	宿泊、日帰り入浴、飲食
12	三和味の謎蔵、三和米と酒の謎蔵	飲食、博物館

## スケジュール

実施日	内容	申込期限／方法
7月16日(火)	事前説明会	7月11日(木)／メール
7月17日(水) ～26日(金)	現地見学会	7月11日(木)／メール

① 個別見学会（施設の概要等について、市から説明を行います。）

② フリー見学会（独自に無料で見学できます。）

※ 日程等の詳細は、実施要領をご覧ください。

8月19日(月) ～30日(金)	対話（市場調査）	8月2日(金)／メール ※エントリーシートを添付
---------------------	----------	-----------------------------

利活用のアイデアについて、直接、市との対話を行います。

皆様が持つ発想や視点などがありましたらぜひお聞かせください。

9月予定	実施結果の公表
------	---------

## 第2回調査（予告）

第2回の市場調査は、次の施設を対象とし、10月以降に実施を予定しております。この中で、今回（第1回）の対象施設に係る活用策等の提案（対話）をいただくことも可能です。

No.	施設名	主な機能
1	上越市市民いこいの家	日帰り入浴
2	上越リゾートセンターくるみ家族園	日帰り入浴、飲食
3	ろばた館	日帰り入浴、飲食
4	牧湯の里深山荘	宿泊、日帰り入浴、飲食
5	吉川スカイトピア遊ランド	宿泊、日帰り入浴、飲食
6	糸しんの里記念館	博物館、集会室
7	ヨーデル金谷	飲食